

令和7年第2回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和7年5月29日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、市民の皆様のご活躍につきまして、報告させていただきます。

【健康福祉の分野における活躍について】

4月6日から5月18日にかけて、第22回長崎県ねんりんピックが開催され、雲仙市からは14競技、96名の選手が出場し、西郷小学校5年の鶴殿海史さんが、年齢にかかわらず出場できるふれあい三世代交流将棋大会Bクラスの部において見事優勝されました。

【産業の分野における活躍について】

4月29日、令和7年春の褒章が発令され、愛野町の寺尾祐輔様が「スカビオサ」のオリジナル品種の育成および認知向上に貢献されたこと、また、令和2年から4年間長崎県花き振興協議会の会長を務め、県内の花きの生産振興や産出額増加に寄与されたご功績により、「黄綬褒章」を受賞されました。

【生涯学習の分野における活躍について】

4月23日、大正小学校が、地域の図書ボランティアとの連携等による読書活動推進に尽力された功績により、子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞されました。

【スポーツの分野における活躍について】

3月26日から28日にかけて、愛知県春日井市で開催された「第34回全国高等学校剣道選抜大会」男子団体のメンバーとして、愛野町出身で長崎県立島原高等学校3年の林田蒼生さんが出場され、初優勝に貢献されました。

4月12日から13日にかけて、東京武道館で開催された「令和7年度ジュニアクイーンズカップ・レスリング選手権大会」のU23の部72kg級において、国見町在住の吉武まひろ様が見事優勝され、本年10月にセルビアで開催されるU23世界選手権の日本代表入りを果たされました。

【ジュニアスポーツの分野における活躍について】

3月28日から30日にかけて、宮崎県宮崎市で開催された「第21回都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会」に、長崎県選抜として、国見中学校の堀田祐雅さんと小浜中学校の田中絆太さんの2名が出場され、全国第3位の成績を収められました。

3月29日から31日にかけて、奈良県奈良市で開催された「第18回春季全日本小学生男子ソフトボール大会」に、土黒小学校の児童を中心に構成された「ケヤキーズ」が出場され、全国第3位の成績を収められました。

5月4日、佐世保市で開催された「第42回長崎県小学生ソフトテニス春季選手権大会」男子の部において、国見ジュニア所属の小田結士さん、松尾陽希さんペアが見事優勝され、7月31日から茨城県神栖市で開催される全国大会に出場されます。

【芸術文化の分野における活躍について】

3月31日から4月1日にかけて開催された、「第3

4回グレンツェンピアノコンクール福岡本選大会」において、小浜小学校2年の津田琴音さんが小学校1，2年Bコースにおいて優秀賞を、愛野小学校2年の柴田英治さんが小学校1，2年Aコースにおいて準優秀賞を、同校6年の柴田羽菜さんが小学校5，6年Aコースにおいて優秀賞を受賞されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域防災体制の強化につきましては、5月1日、鹿児島県霧島市と「災害時相互応援に関する協定」を締結いたしました。

今回の協定締結により、相互応援体制を構築し、災

害時の応急対応及び復旧対策を円滑に遂行し、防災力と災害対応力の強化を図ろうとするものでございます。

5月27日、出水期を前に、がけ崩れが懸念される急傾斜地や、令和3年8月の大雨により土砂崩れが発生した雲仙古湯地区、八万地獄、小地獄地区において長崎県が実施している地滑り対策工事など、市内6か所について点検を実施しました。

今後も災害対応の充実と併せ、防災、減災の取り組みの強化を図り、市民の皆様の安全確保に努めてまいります。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

生産基盤の整備につきましては、5月18日、雲仙市土地改良区統合整備検討会において、8つの土地改良区の合併に向けた「雲仙市土地改良区合併予備契約書調印式」が開催されました。

この合併により運営基盤が強化されることで、適正かつ効率的な土地改良施設の維持管理が可能となり、次世代における持続可能な地域農業の実現に向け、発

展されることを期待しております。

【基本方針3 「社会基盤と環境」の分野について】

高規格道路の整備につきましては、4月1日、高規格道路「島原道路」小野町から長野町間が、概略ルートや構造の検討を行う計画段階評価を進めるための調査に着手すると発表されたことから、5月14日に諫早市及び島原半島3市の市長で、地元選出国會議員、国土交通省に対し、お礼と整備促進の要望を行いました。

今後関係者の皆様と連携を図りながら、高規格道路「島原道路」の全線の早期完成を推進してまいりますとともに、諫早市小野町から長野町間の早期事業化に向けた取り組みの推進を行ってまいります。

主要道路の整備につきましては、3月21日、主要地方道小浜北有馬線道路改良工事（仮称）大亀矢代トンネルの貫通式が執り行われました。

【基本方針4 「人財と郷土」の分野について】

青少年の健全育成につきましては、5月10日から11日にかけて「雲仙市市制施行20周年記念事業雲仙市としょかんまつり」を実施し、絵本作家木村裕一様による講演会などを開催いたしました。

スポーツ大会・教室の充実と参加促進につきましては、4月12日から5月4日にかけて、「第19回雲仙市ジュニアスポーツ大会」が開催され、10競技47種目に、県内から175チーム、総勢1,981名が参加し、熱戦を繰り広げました。

本大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、4月6日に「小浜温泉湯祭り」が開催されました。

当日は多くの人で賑わっており、主催者の皆様のご尽力に対し、感謝申し上げます。

市民参画と行政運営につきましては、年々増加する外国人住民と、地域住民の交流の場として、5月11

日に日本語交流ひろばを開催いたしました。今後も、定期的な開催により、日本語を学びつつ日本文化や生活習慣への理解を深めていただくことで、地域の多文化共生を推進してまいります。

5月28日、株式会社オーレックホールディングスと包括連携協定を締結いたしました。

今回の協定締結により、ゼロカーボンシティの取り組みや、食と農による教育・体験などの取り組みに対する支援をいただくことで、地域の活性化に繋がるものと期待しております。